

24V コードレス強水圧洗浄機

# 取扱説明書



この度は「24V コードレス強水圧洗浄機」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

## 電動工具共通の安全上のご注意

- 「電動工具」とは電源式（コード式）電動工具、または電池式（コードレス）電動工具を指します。
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、ご使用前に必ず取扱説明書に目を通し、下記の「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
- お読みになった取扱説明書はいつでも見られるように必ず保管しておいてください。

### 警 告

1. 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
  - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
2. ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
  - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
3. 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
  - ・ 事故の原因となります。
4. 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、発電機でご使用ください。
  - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
5. 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
  - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
6. 感電に注意してください。
  - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
7. ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
  - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
8. 雨天時の取扱に注意してください。
  - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気が多い所や高温な場所で保管をしないでください。
  - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
  - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。

9. 電源コードの扱いに注意してください。

・ 電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。

・ 電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりしますと、感電、火災の恐れがあります。

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。

11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。

・ バッテリーは本体から抜き、充電器はプラグからコードを抜いて保管してください。

12. USB 端子付きのバッテリーは端子間に金属が触れないようにしてください。

・ 針や針金などが USB 端子内に入るとショートする恐れがあります。

13. 無理な使用を避けてください。

・ 取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。

・ 小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。

・ 著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。

14. 作業に適した服装で行ってください。

・ だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。

・ 屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

15. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。

16. 無理な体勢で作業しないでください。

・ 斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。

17. 不意な始動を避けてください。

・ 本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。

・ 移動、手渡し、メンテナンスの際は本体からバッテリーを抜いてください。

・ 稼働させたまま放置しないでください。

18. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。

・ 使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。

・ 故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。

・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

19. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・ 点検・調整・清掃する場合は電源を切り、バッテリーを本体から抜いて作業を行ってください。

・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。

・ 使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。

・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

20. 切断工具は、鋭利できれいな状態でご使用ください。

・ 適切にお手入れされることで、より安全性の高い作業をおこなうことができます。

・ 使用後はお手入れをし、状態によっては付属品の交換をしてください。

# 「バッテリー工具」安全上のご注意

- ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「バッテリー工具」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。（「バッテリー工具」とは、外付けのバッテリーを充電・装着して使用する電動工具のことです。）

## 警 告

1. 専用のバッテリー以外は使用しないでください。
2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
3. バッテリーに釘をさしたり、衝撃を与えたりしないでください。
4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
5. バッテリーの端子に金属などを接触させないでください。（特に金属と一緒に保管しないでください）ショートする恐れがあります。
6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温になる恐れのある場所で充電・使用・保管しないでください。
7. 極端に高温・低温・高湿度の場所で保管するとバッテリーが液漏れする恐れがあります。漏れた液はやけどや炎症の原因となりますので絶対に触らないでください。万が一目に入ったら、すみやかに水で洗い流し、眼科医に受診してください。
8. 正しく充電してください。
  - ・この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
  - ・温度が0℃未満、または温度が40℃以上の所では、バッテリーを充電しないでください。
  - ・充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
  - ・充電器を使用しない時、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
9. 専用の充電器以外では、充電しないでください。
  - ・充電以外の目的で充電器を使用しないでください。
10. バッテリーを充電したまま長期間放置・保管しないでください。
11. 次の場合は工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。
  - ・保管、または修理する場合。
  - ・付属品を交換する場合。
  - ・本体の整備や掃除をする場合。
12. 不意な始動を避けてください。
  - ・バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
13. 充電中、極端に発熱したり、膨張、発煙などの異常に気づいた場合は直ちに使用を中止してください。
14. 火災発生の恐れがある場所では充電しないでください。
  - ・ホコリのある所、燃えやすい布製品の上、ビニールなどは発火の原因となります。
15. バッテリーを水などの液体にひたさないでください。ショートの原因となります。
16. 稼働可能時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
17. 使用済みのバッテリーは一般ゴミとして捨てないでください。
18. 落としたり、強い衝撃を与えられたバッテリーは使用しないでください。



# 「24V コードレス強水圧洗淨機」 安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「24V コードレス強水圧洗淨機」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

## 警 告

1. ノズルは、人や動物、通電された電気装置に向け噴射しないでください。
2. 本製品は防爆構造になっておりません。ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
3. 小さい子どもやペットのいる側で使用しないでください。
4. 濡れた手でスイッチを操作したり、バッテリーの抜き差しや充電アダプターのプラグの抜き差しをしないでください。
5. 子どもに持たせたり、遊ばせたり、使用させたり絶対にしないでください。
6. 誤って落としたり、ぶついたりした時は、必ずよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、感電や誤作動の原因になります。
  - ・落とすなどして強打したバッテリーは危険なので使用しないでください。
7. 必ず指定の専用付属品をご使用ください。
8. 作業中は周囲に人や障害物がないかよくご確認のうえご使用ください。
9. 着用中の衣服や手に持ったものに向かって洗淨しないでください。怪我の恐れがあります。噴射される水には直接触れないようにしてください。
10. ノズルを覗き込まないでください。大変危険です。
11. 使用中は本体を両手でしっかり支えて保持し、ゴーグルなどで目を保護してください。
12. 高所作業の時は、下に人がいないことをよく確認してください。
13. バッテリーや本体を水の中に入れたり、ビショビショのままバッテリー交換をしたりしないでください。
14. 使用中は噴射口を塞がないでください。過度な負荷がかかり危険です。対象物から 10cm 以上離して噴射させるようにしてください。
15. 使用中、モーターから異音がしたり、誤作動したりした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、販売店または弊社に点検・修理を依頼してください。
16. 噴射先に石、釘などの小さく固い異物がないことをよく確かめてからご使用ください。飛散して怪我の原因となります。
17. 風上に向かって使用しないでください。噴射が乱れて人に向く恐れがあります。
18. バッテリーを複数個交換しながら長時間使用する場合は、バッテリーランプが一つになった時点で交換し、再稼働前に本体を 15 分以上休ませてください。
19. 可燃性の液体、その他、水以外のものを使用しないでください。故障や事故の原因となります。
20. 梯子に登ったり、滑りやすい場所での作業の時は、滑り止めのついた靴を着用し、まわりの状況に注意しながら作業を行なってください。

# 注 意

1. 同じ箇所に連続して噴射しないようにしてください。水圧によって洗浄箇所が陥没したり、破損する恐れがあります。
2. 片手でスイッチを押しながらもう一方の手でブラシなどの作業をしないでください。跳ね返りによる不意の事故に繋がります。
3. インバーターを内蔵しないエンジン発電機での充電はしないでください。故障の原因となります。
4. ノズルやホースの取り付けは確実に行ってください。取り付け後、確実に接続されたことを確認のうえで稼働するようにしてください。
5. ホースに亀裂や破損がないかよく確認し、ある場合には使用しないようにしてください。
6. 外壁などに使用する場合は、目立たない場所で一度試してから、洗浄を行うようにしてください。水圧によって損傷する外壁でないかご確認のうえでご使用ください。
7. 砂や土が大量に混ざった水は使用しないようにしてください。故障の原因となります。
8. 使用中に本体接続部から少量の水が落ちる場合があります。濡れても支障のない作業服をご着用ください。
9. 使用しない時は子どもの手の届かない場所に保管してください。
10. 使用後は本機とノズル、ホース内の水気を完全に乾燥させてからしまって保管するようにしてください。

## **【法令を遵守してご使用ください】**

- 騒音規制について…騒音・振動規制法については、各自治体ごとに政令で定められた内容が異なります。お住まい管轄の法令をご確認のうえ、近隣の方へのご迷惑とならないよう十分に配慮してご使用ください。
- 本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。

## 基本仕様

24V コードレス強水圧洗浄機		LW C02A-JP
電圧 (バッテリー)	24V (リチウムイオンバッテリー)	
バッテリー稼働時間	約 20 分 ※無負荷時	
最大吐出圧力	2.4 MPa	
常用吐出水量	0 ~ 140L/h	
最大吸水高低差	1.5m	
適応温度	0°C ~ 40°C	
サイズ (約)	本体:幅50×高さ26×奥行7 cm	
ホース長さ(約)	6m	
重さ (約)	本体:1.4kg バッテリー:450g	
材質	樹脂、他	

※稼働時間は状況によって異なります。

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

充電アダプター	
電圧	100V
周波数	50-60Hz
充電時間目安	約 80 分

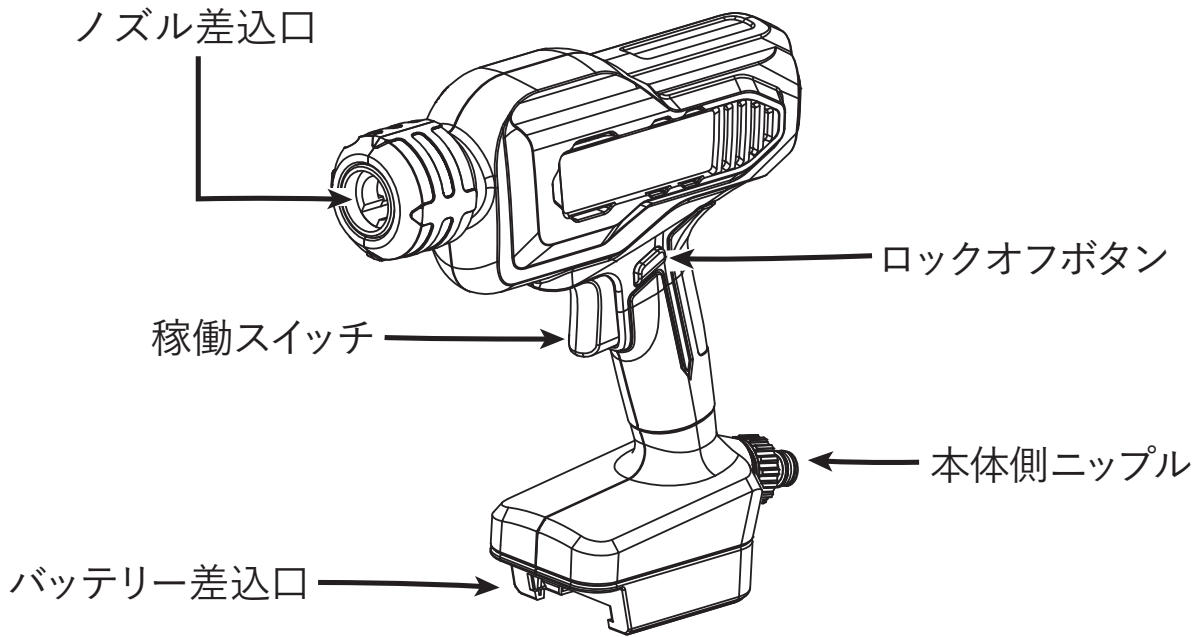
※充電時間はバッテリー残量、気温、バッテリーの経年劣化により異なります。

標準セット内容：

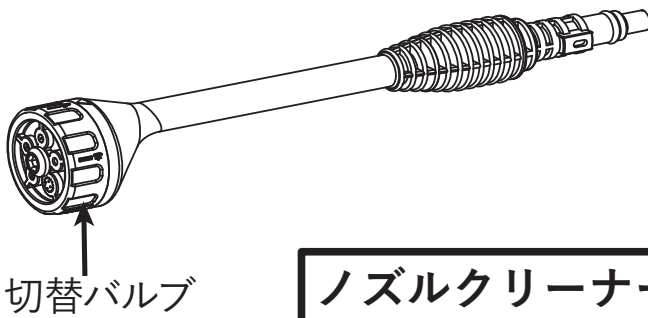
本体、5in1 マルチノズル、バッテリー、充電アダプター、専用ホース(吸水フィルター付き)、ノズルクリーナー (取説に付属)

# 各部名称

## 本体



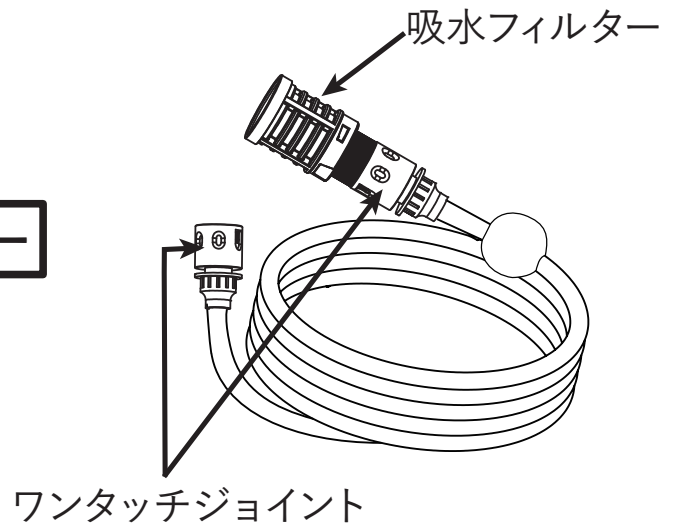
## 5in1マルチノズル



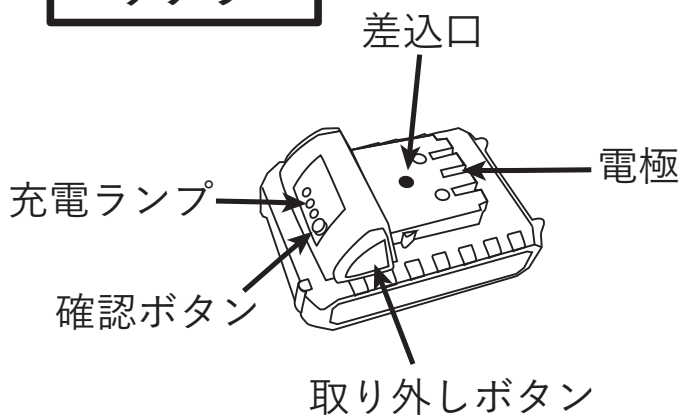
## ノズルクリーナー



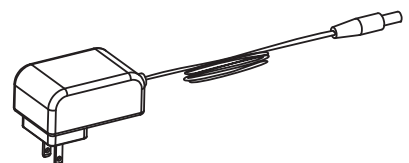
## 専用ホース



## バッテリー



## 充電アダプター

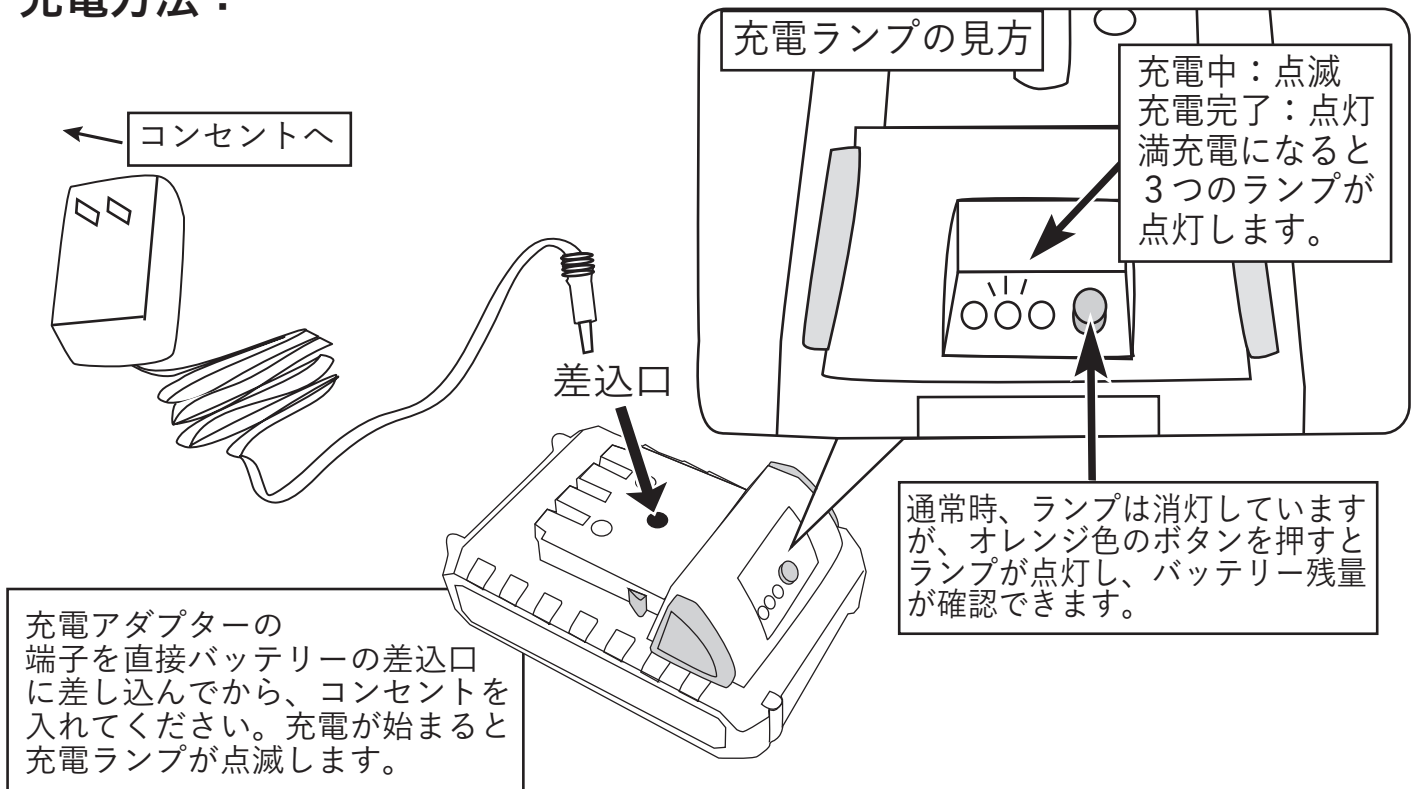




## 作業の前に

バッテリーは工場出荷後、放電により十分に充電されていない場合があります。充電を試みる前に、すべての安全に関する指示をよくお読みください。

### 充電方法：



## 警告

- 1, バッテリー自体の劣化や本体モーターのオーバーヒートを防ぐことを目的に、このバッテリーには安全装置が内蔵されています。
  - ・使用中、長時間の使用や過重作業など負荷がかかりすぎた場合にはバッテリーが自動停止することがあります。この場合、スイッチを入れても本機は稼働しなくなります。
  - ・バッテリーが自動停止した場合は作業を停止し、本体スイッチを切り、バッテリーを取り外して、30分以上本体とバッテリーを休ませてください。
- 2, バッテリーの容量が少なくなると自動停止します。
  - ・残量不足によって自動停止したバッテリーは、その後すぐスイッチを入れ直すと再び稼働することがあります。この場合でも使用を中止しバッテリーを充電してください。
  - ・別のバッテリーに替える場合は、本体を30分以上休ませるようにしてください。
- 3, バッテリーを完全に放電させると、バッテリーが損傷する恐れがあります。
  - ・電池残量不足で停止するようになった状態で製品を使用、保管しないでください。
  - ・損傷のあるバッテリーを長期間保管後に使用すると、破裂の恐れがあり大変危険です。

## バッテリー寿命を保つために

# 注 意

- ・残量が少なくなってきたバッテリーは出来るだけ早めに充電してください。
- ・完全に放電すると蓄電機能が劣化し、再充電が出来なくなる恐れがあります。
- ・残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると、使用時間が極端に短くなるか、再充電出来なくなる場合があります。
- ・バッテリー寿命をより保つためには、定期的に電力を消費し、容量を消耗するたびにバッテリーを充電するのが理想的です。
- ・連続使用後の製品はバッテリーが高温になっています。充電する前に少し時間をおき、十分冷ましてから充電をし始めることによりバッテリーにかかる負荷が減ります。
- ・バッテリーは0℃～40℃の間で給電できるように設計されています。冷たすぎたり熱すぎたりすると、うまくバッテリー充電ができません。本体が冷えすぎてなかなか充電できない場合は、温かい室温の場所にしばらくおいてください。
- ・充電中にバッテリーやケーブルが熱くなる場合がありますが、これは正常であり、障害を示すものではありません。
- ・ただし、異常に熱くなった場合には電力供給を一旦停止し、冷却時間を設けるようにしてください。また充電が終了し満充電の状態でも長時間充電したままにしないようにしてください。
- ・機器の動作時間が大幅に短縮され、バッテリーの充電時間が短縮された場合は、バッテリーの容量が減少しているため、交換する必要があることを示しています。

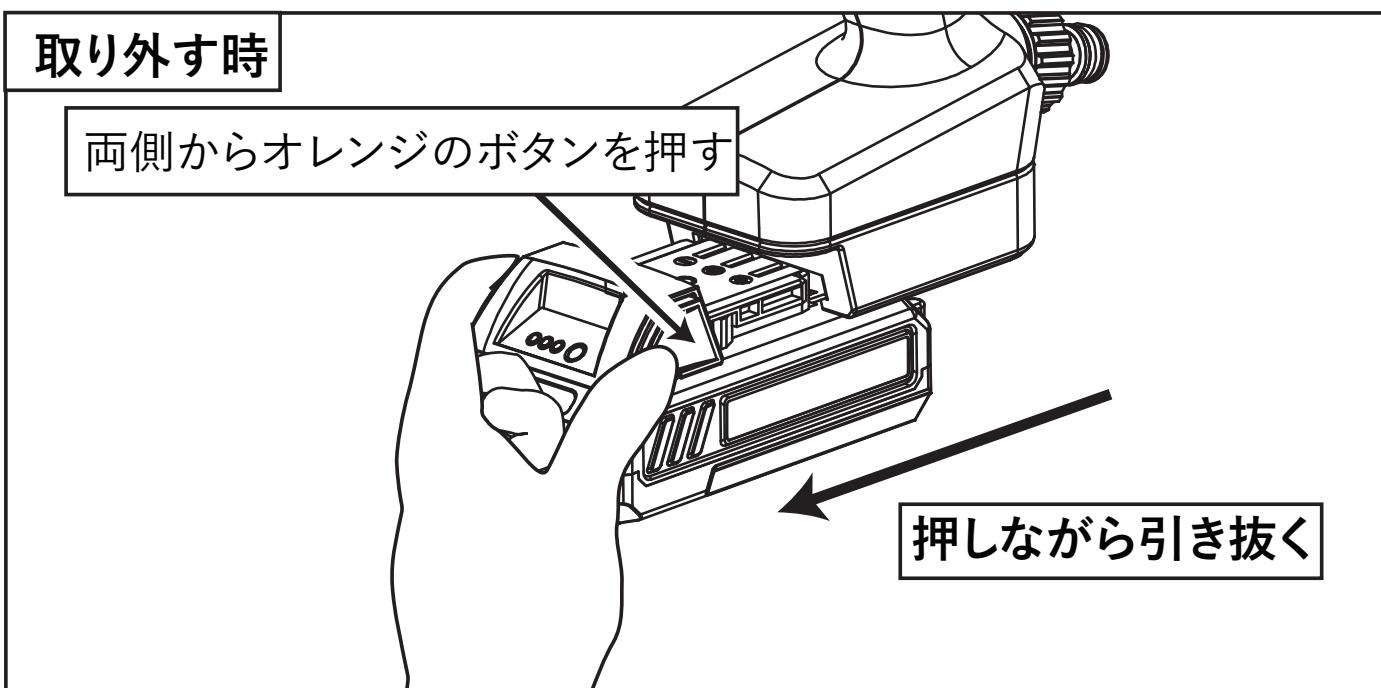
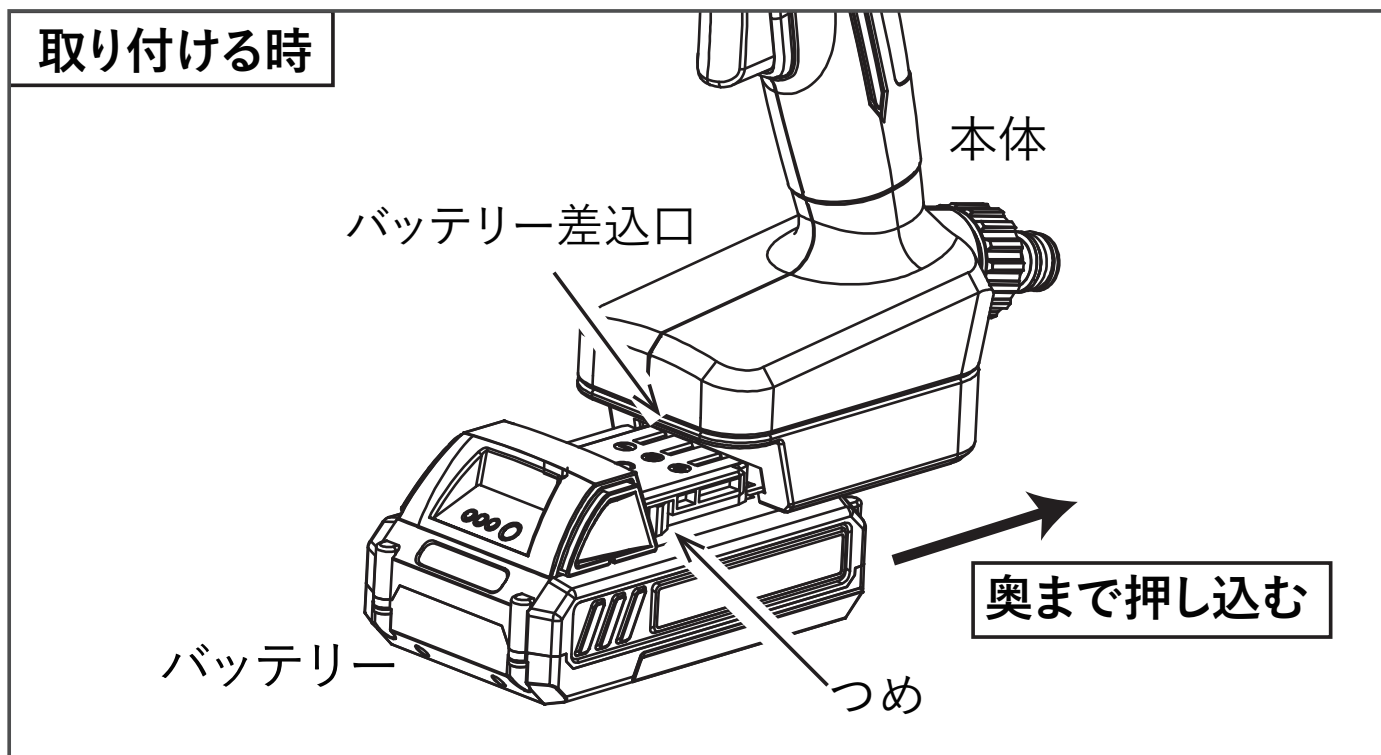
## 作業の前に

### バッテリーの取り付け・取り外し方：

バッテリーの取り付けは必ず全ての組立や接続が完了した後におこなってください。

バッテリー差込口に、まっすぐ、奥までしっかり押し込んでください。「カチッ」とつめのはまった音がなります。

取り外す時は、取り外しボタンを両側からしっかり押し込みながら、引き抜いてください。

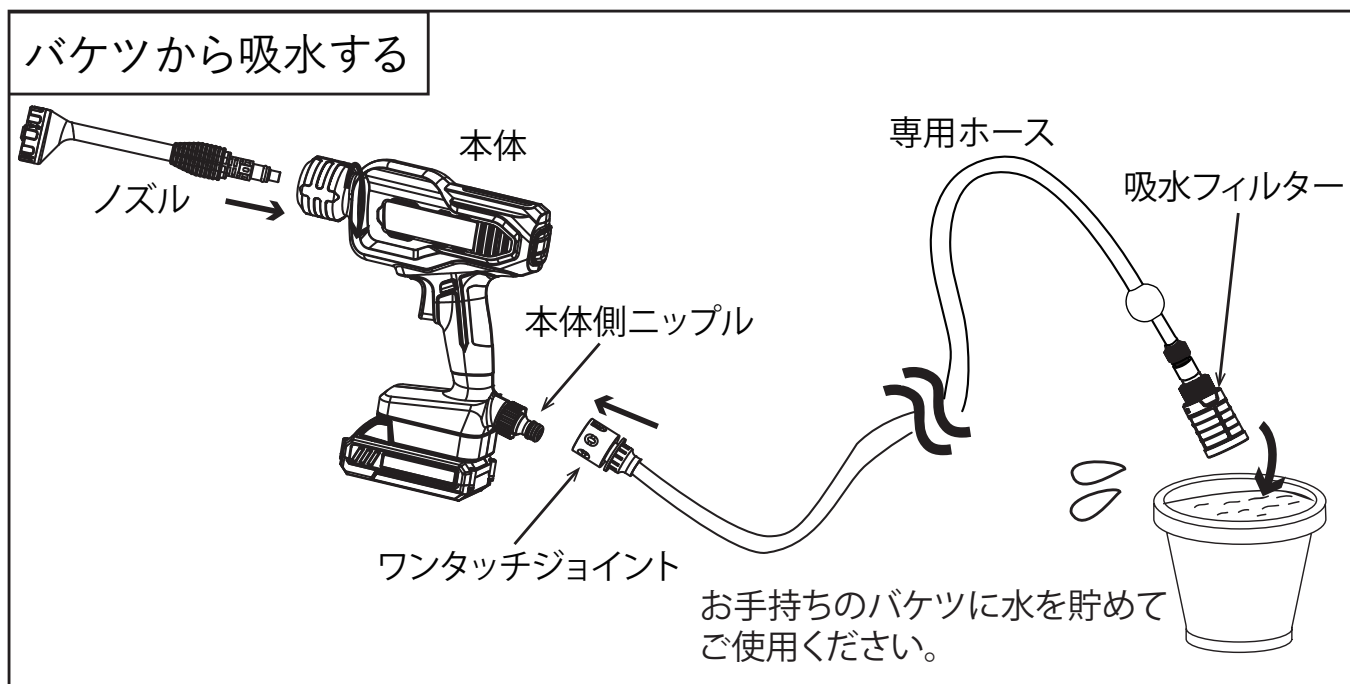


## 作業の前に（ホースの接続）

この製品は、バケツや溜池の水からの吸い上げ、もしくは水道蛇口から直接、のどちらからでも水を供給することができます。

### バケツを使用する場合：

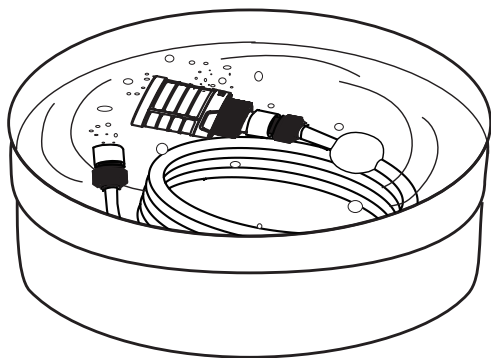
本体側ニップルにホースのワンタッチジョイントを取り付け、反対側先端の吸水フィルターをバケツに入れてご使用ください。



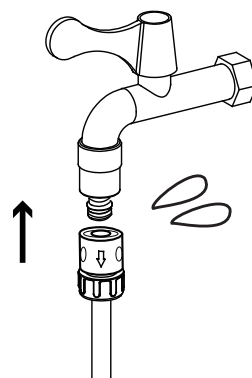
**事前の準備：**真空状態からの自吸水はバッテリーを大幅に消耗するため、フィルターとホースにあらかじめ水を満たしておくことスムーズに吸水ができます。（うまく空気が抜けない場合は、吸水フィルターを一度外してホースに水道から直接水を流し入れて満たしてください。使用中も水を抜かないよう注意してください。）

### バケツに入れる前に

たらいなどに水を張り、ホースと吸水フィルターを沈ませて空気を抜く。



もしくは、吸水フィルターを一旦外して水道から水を流し入れておく。



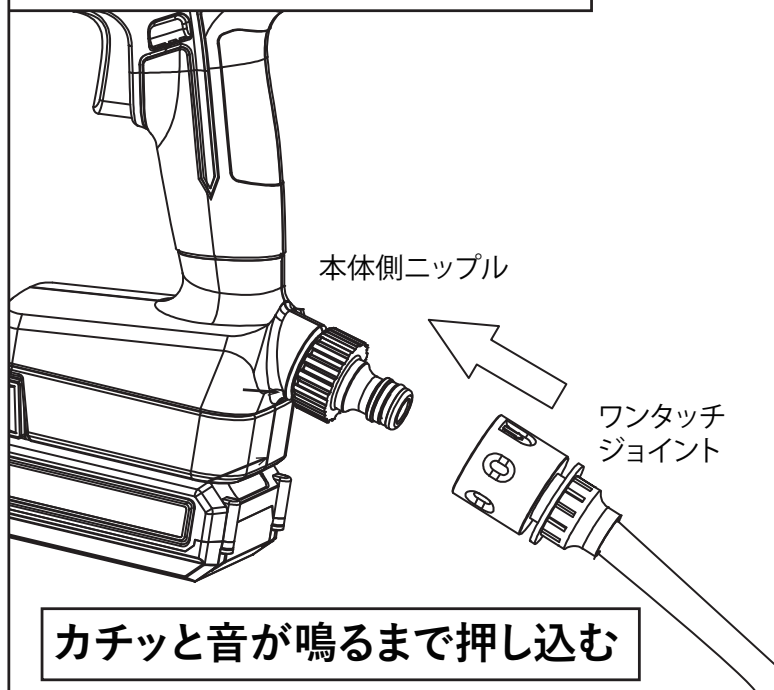
※詳しくはP14~をご参照ください。

# ⚠ 注意

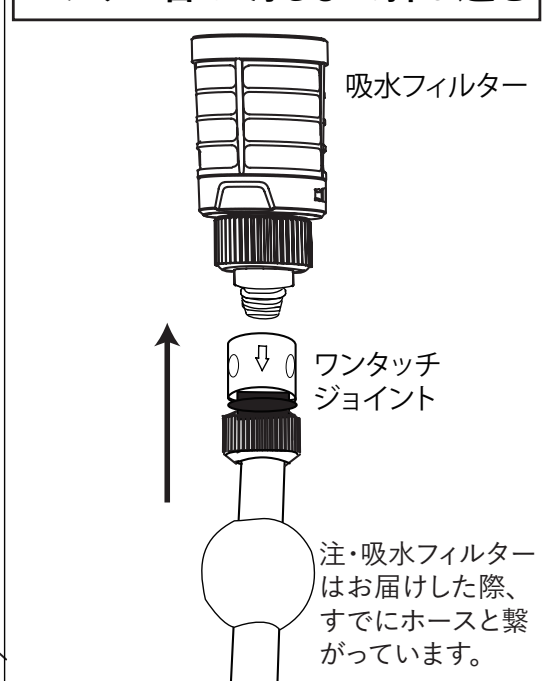
- ・吸い上げ可能な最大高低差は 1.5m です。それ以上では自吸水ができません。
- ・ 0℃以下の水、40℃以上のお湯は吸水しないでください。

**ワンタッチジョイントの取り付け方：**本体側ニップルに、ワンタッチジョイントを差し込みます。「カチッ」と音が鳴るまでしっかり押し込んでください。

## ワンタッチジョイントのやり方

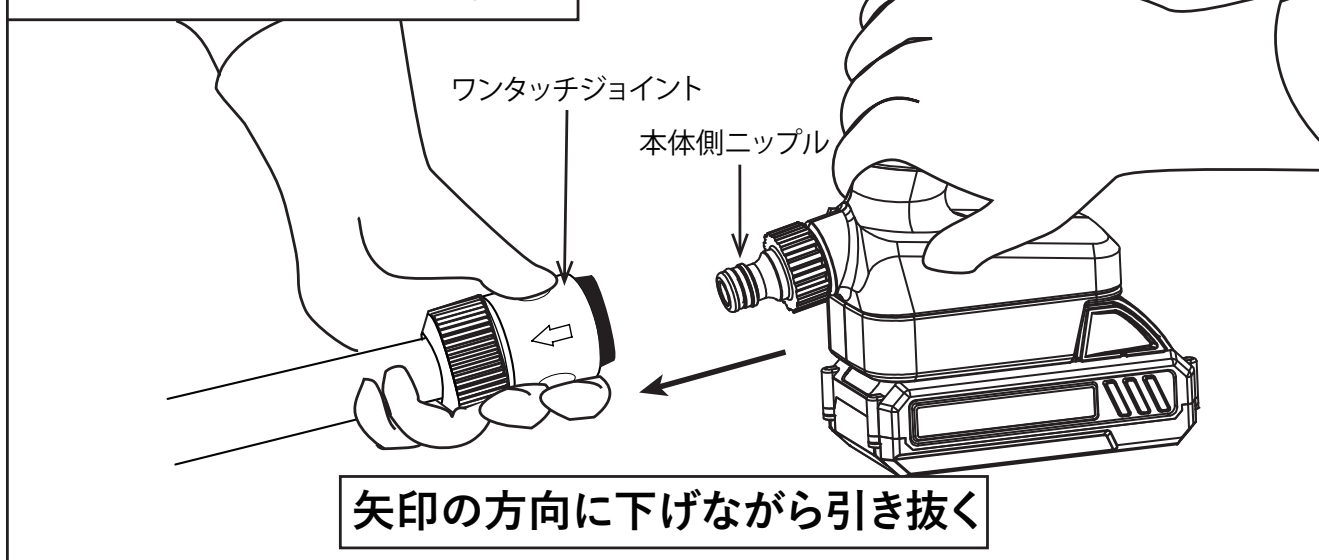


## カチッと音が鳴るまで押し込む



**ワンタッチジョイントの取り外し方：**作業が終了し、本体からホースを取り外す時は、ワンタッチジョイントのオレンジの部分に矢印の方向に引き下ろしながらジョイント部全体を引き抜いてください。

## ワンタッチジョイントの外し方



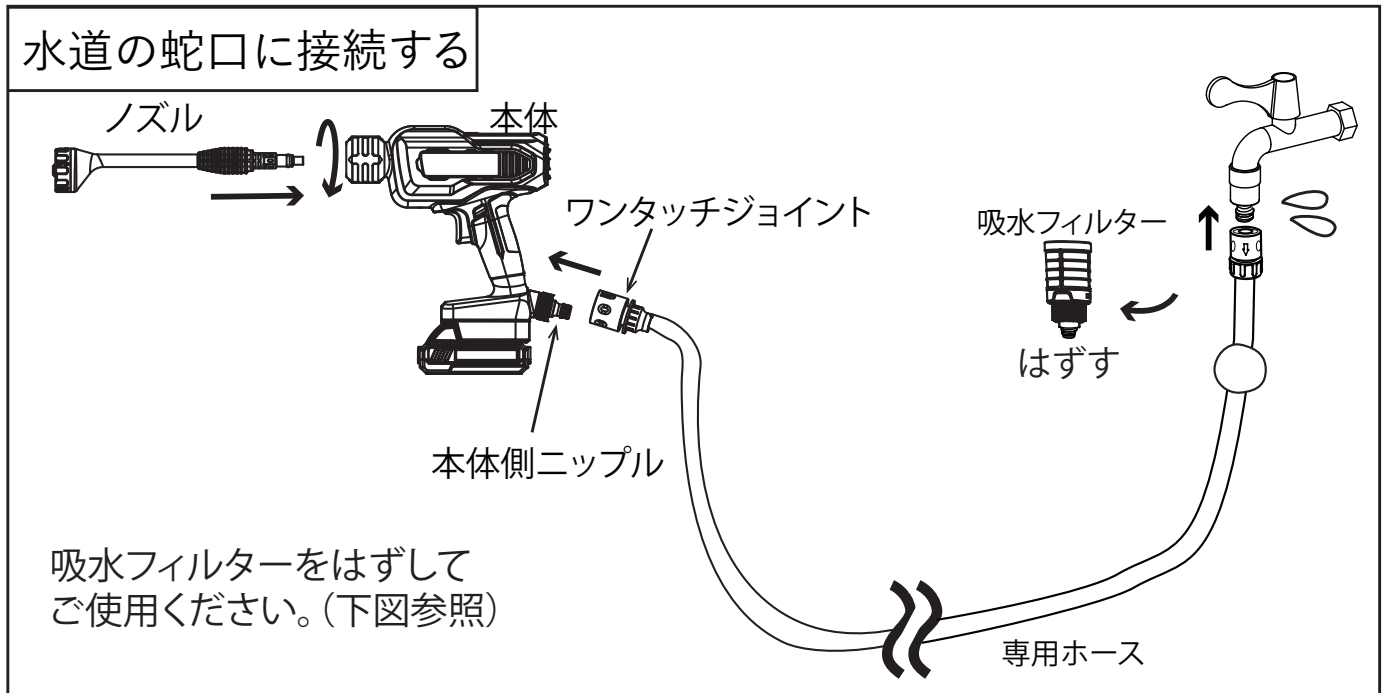


## 作業の前に（ホースの接続）

この製品は、バケツや溜池の水からの吸い上げ、もしくは水道蛇口から直接、のどちらからでも水を供給することができます。

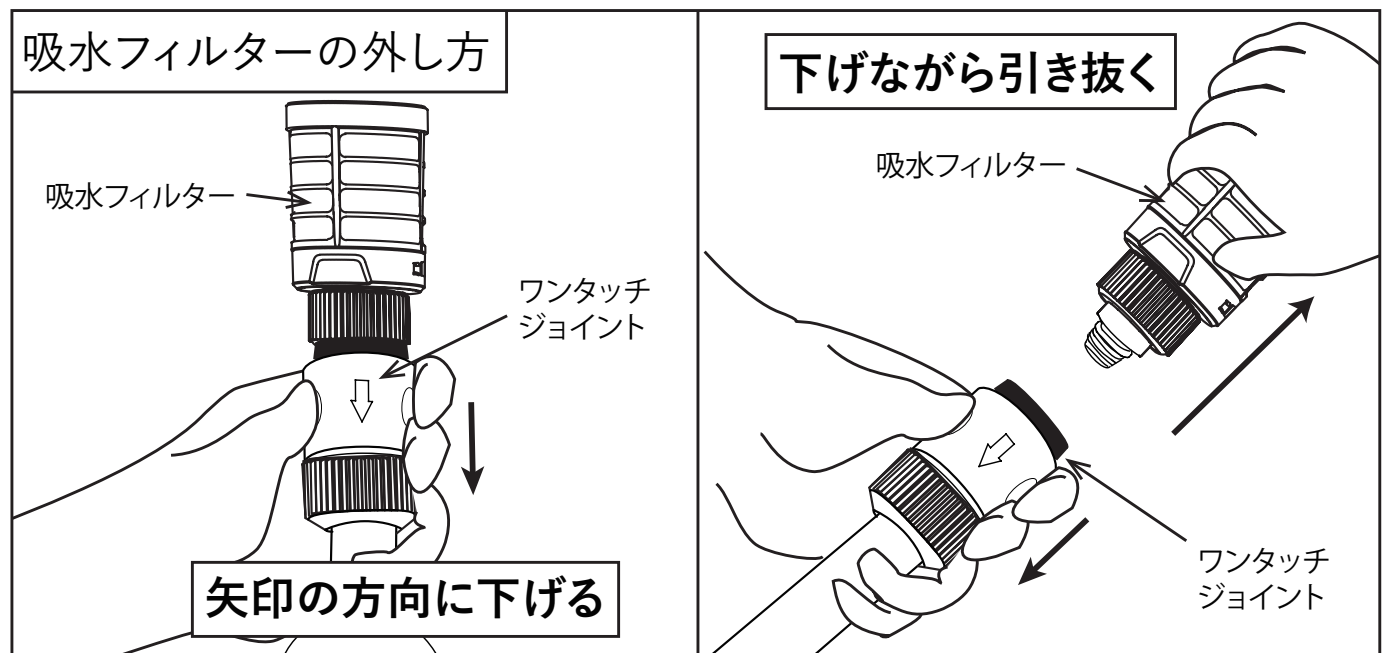
### 水道の蛇口に接続する場合：

ホースに接続されている吸水フィルターを外し、蛇口側のニップルにワンタッチジョイントを接続してご使用ください。



### 手順1・専用ホースから吸水フィルターを外す：

吸水フィルターとホースはワンタッチジョイントで繋がっています。P13のワンタッチジョイントの取り外し方を参照のうえ、フィルターを取り外してください。



# 警告

ホースは蛇口や本体にまっすぐ確実に取り付け、必ず外れないことを確認してからご使用ください。

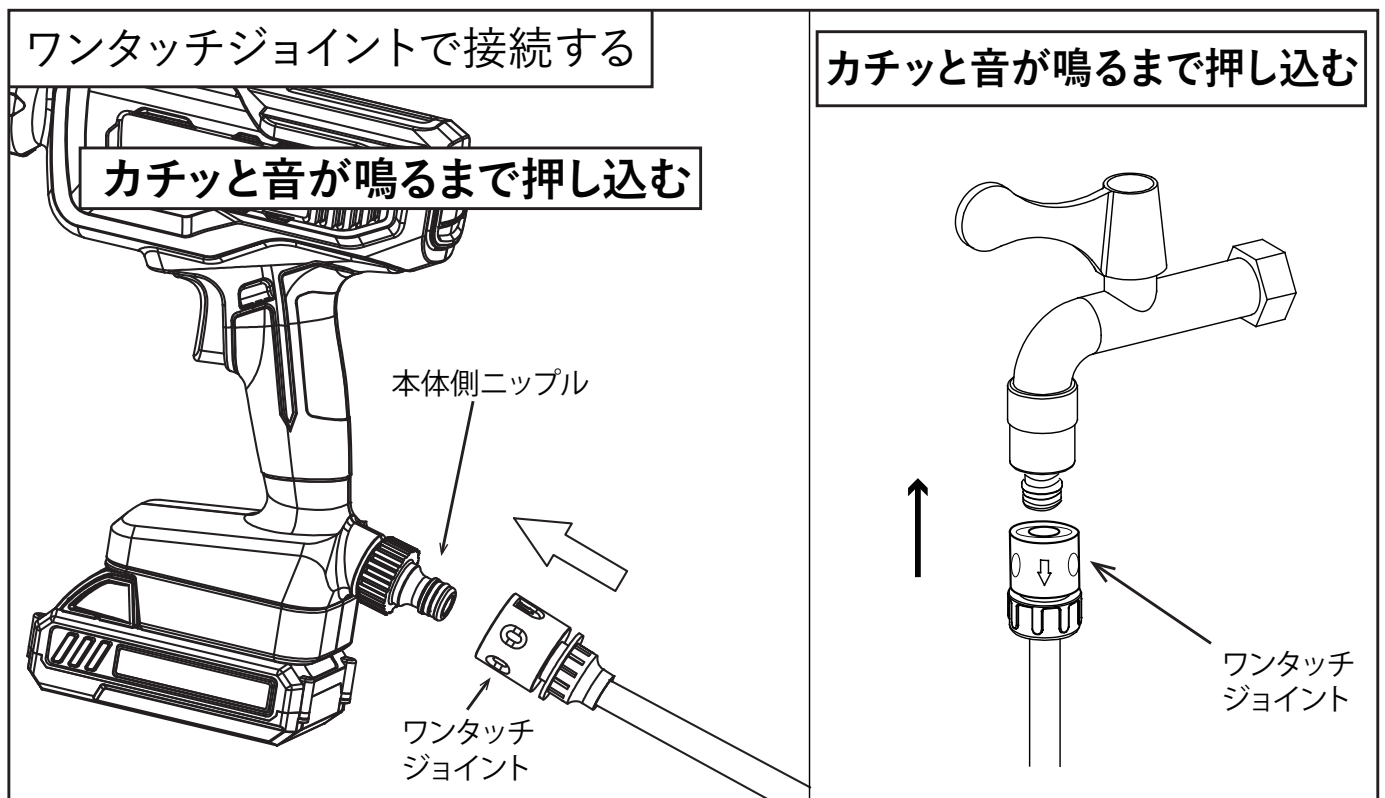
・使用中に外れると思わぬ怪我をする場合があります。

## 手順2・ホースを水道蛇口に取り付ける：

P13のワンタッチジョイントの取り付け方を参照のうえ、蛇口に取り付けてください。作業準備が整うまで、蛇口は開かないようにしてください。

※蛇口側ニップル(ホースの取り付け口)は付属していません。ご使用の水道蛇口にニップルが取り付けられていない場合には、蛇口側に適応する市販の蛇口ニップルをご用意ください。(※1)

※全ての準備が整ってから、蛇口を全開にしてください。水量が少ないと、十分に吸水されないことがあります。



※1 ご使用の水道蛇口によって適応する蛇口ニップルの接続形状が異なります。ニップルの口径は規格が決まっておりますので当製品専用のジョイントをご用意いただく必要はありません。

ご使用の水道蛇口に適応する蛇口ニップルの種類がわからない時はお近くのホームセンターなどに水道蛇口のタイプをお伝えのうえ、ご相談ください。

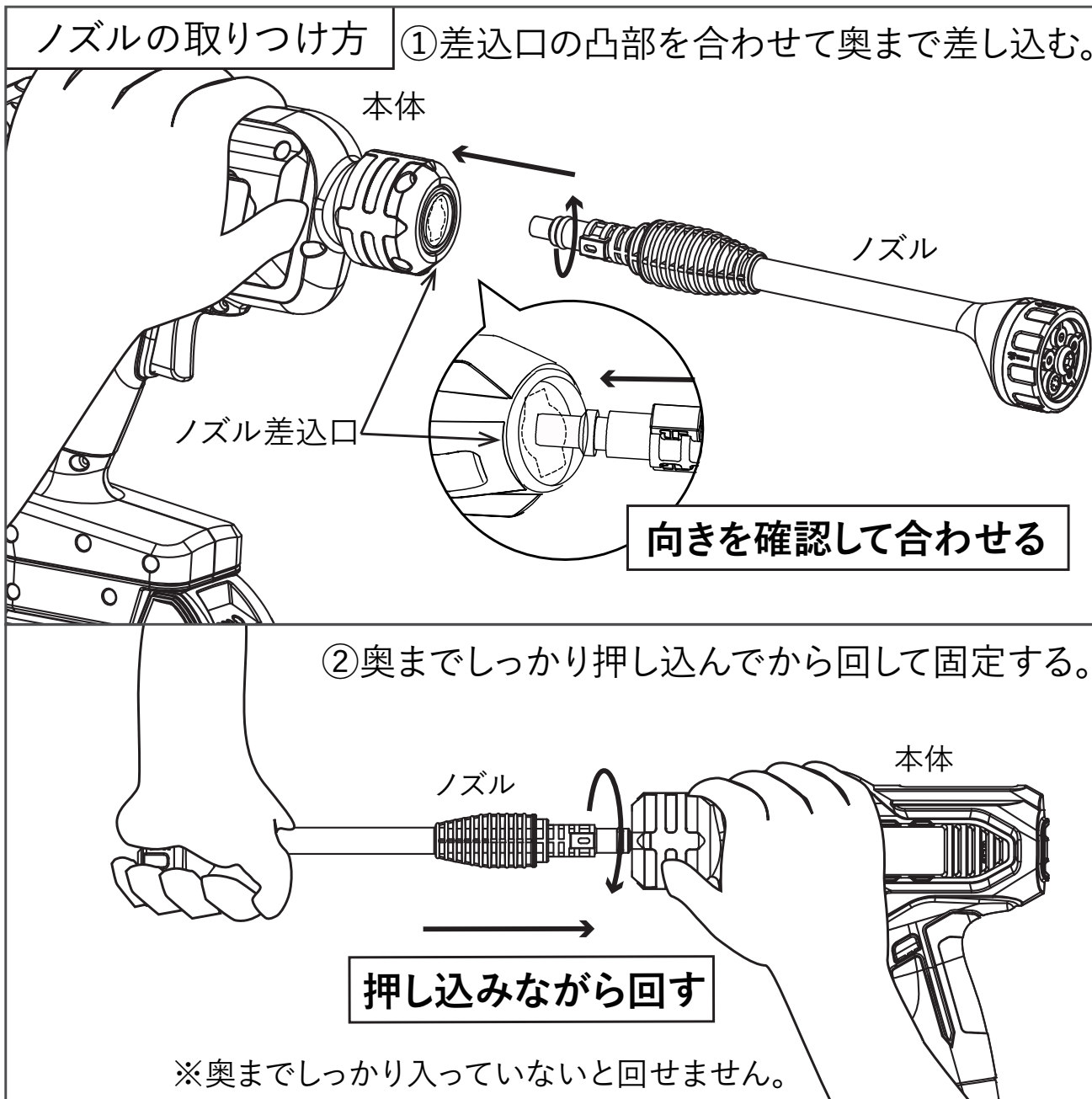
(蛇口ニップルについてお問い合わせいただいても弊社ではお取り扱いがございません。)

# 作業の前に（ノズルの取り付け）

## ノズルの取り付け方：

ノズルの取り付けは必ずバッテリーを外した状態でおこなってください。

①本体のノズル差込口にノズルを差し込みます。②奥までしっかり押し込んでから矢印の方向に回して固定します。※回せない時は、押し返されている場合があります。固定しないと使用中に外れることがあります。



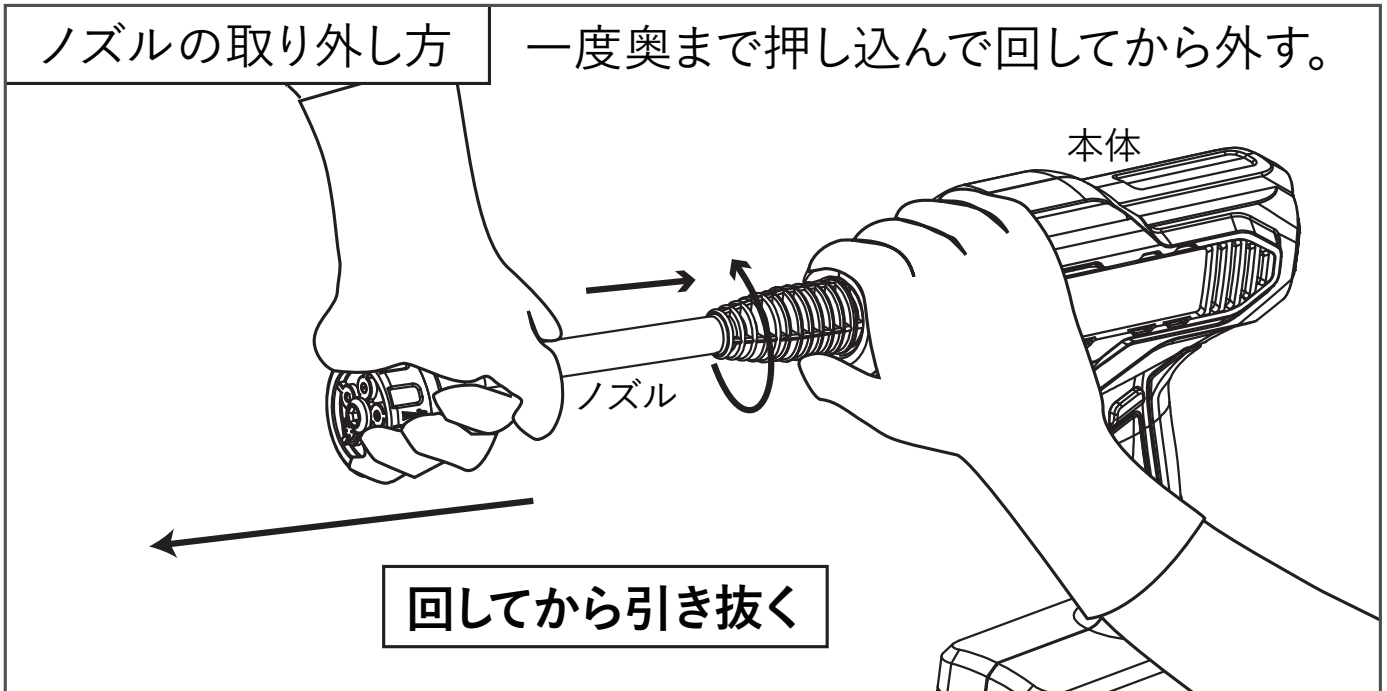
## 警告

ノズルは確実に最後まで回して固定し、必ず、はずれないことを確認してからご使用ください。

・固定されていないと使用中にはずれて飛び出すことがあります大変危険です。

## ノズルの取り外し方：

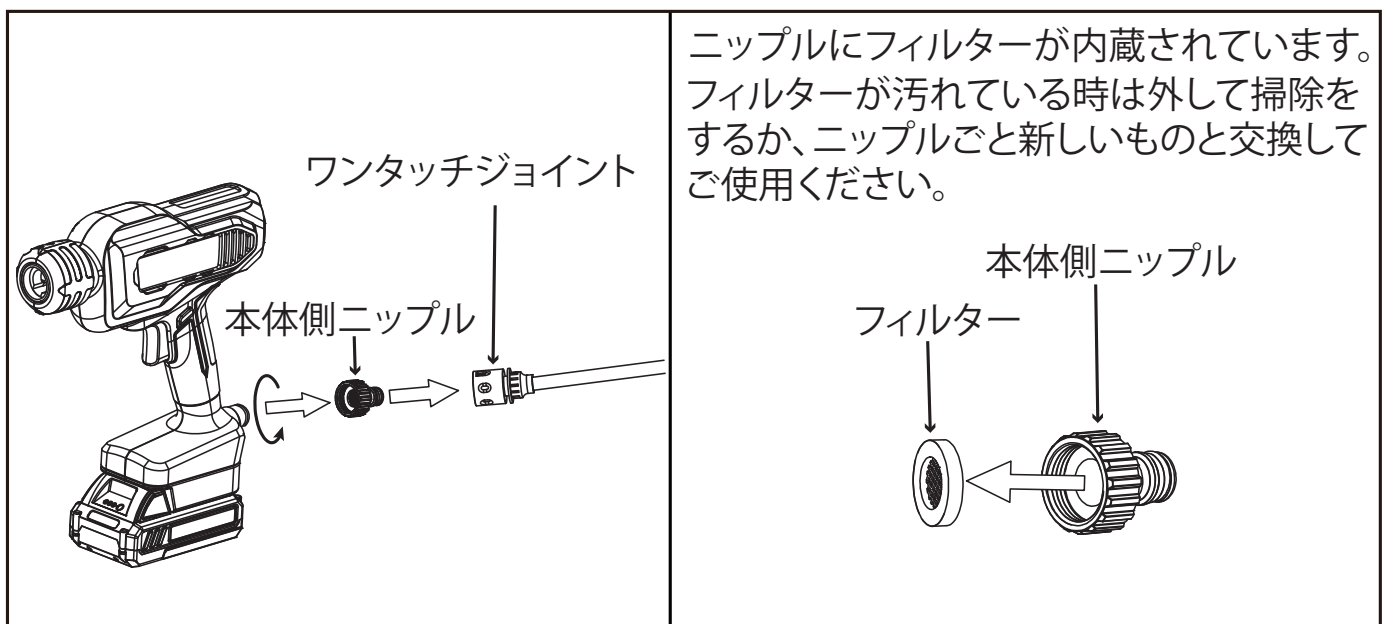
本体をしっかり固定し、ノズルを一度奥まで押し込んでください。押しながら矢印の方向にノズルを回すと、固定が外れて取り外せます。



※はずす時にノズルから流れ出る事があります。バッテリーや電極部に水がかからないように、先にバッテリーを取り外してからノズルの取り外しをおこなってください。

## ニップルの交換方法：

本体側ニップル、吸水フィルター接続ニップルはそれぞれ取り外し・交換ができます。お手入れの際はニップル内のフィルター取り外したりなくさないようご注意ください。



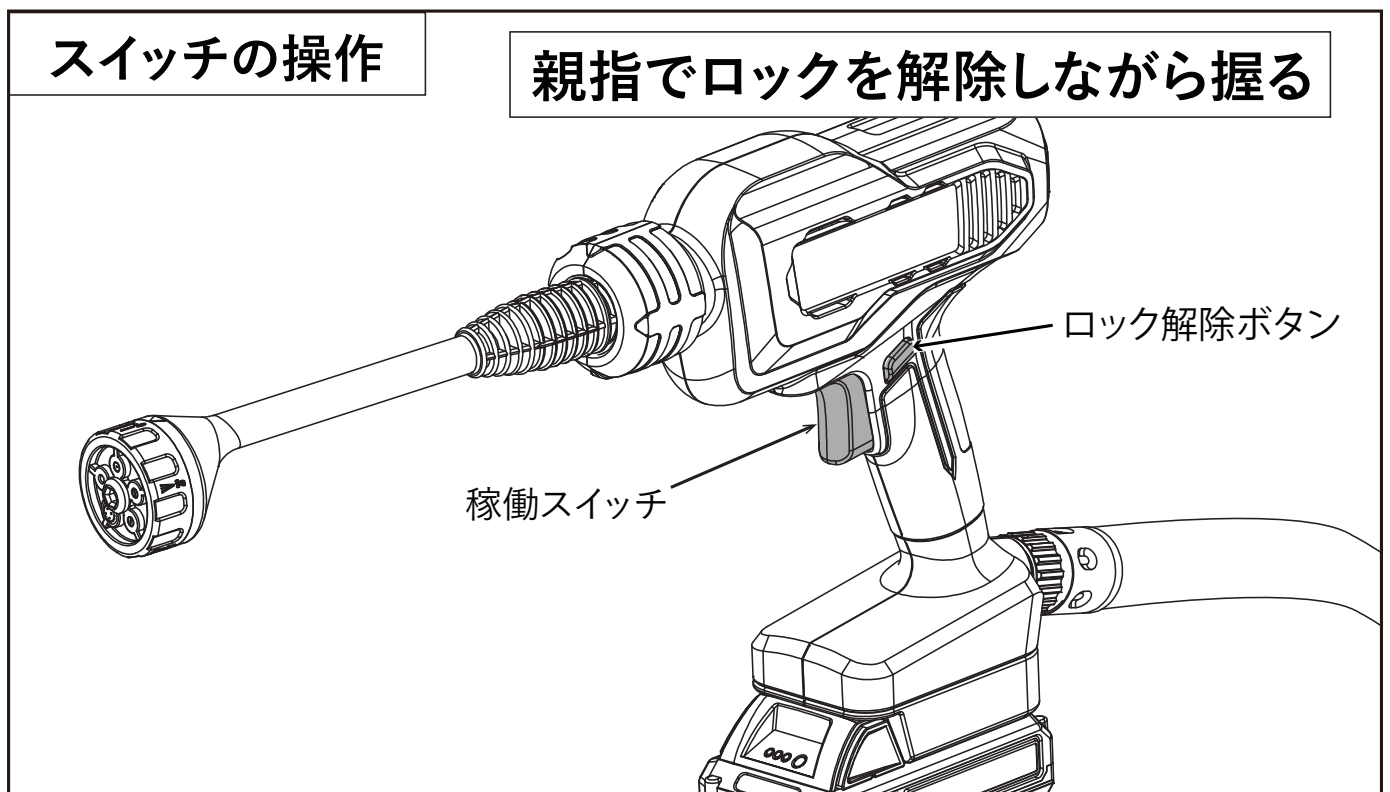
# 操作方法

## スイッチの操作方法：

ロック解除ボタンを押しながら稼働スイッチを握って押ししてください。握っている間は稼働し続けます。手を離すと止まります。

※安全設計上、初動では稼働スイッチは硬めの仕様になっています。しっかり強く握り、奥までスイッチを押し込まないと噴射されません。硬い場合は両手で握って押し込んでください。使用するうちに稼働スイッチはやわらかくなっていきます。

※初動は水圧が安定するまで少なくとも5秒間稼働させてください。



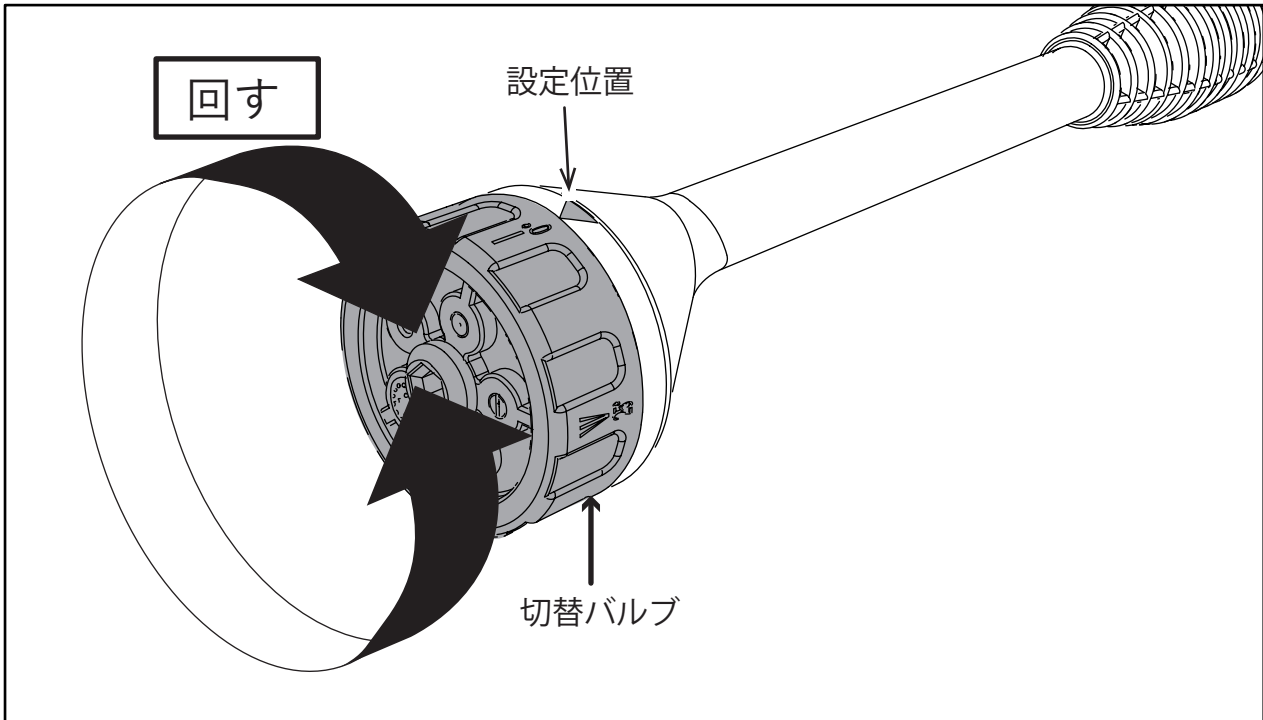
## 警告

- 1, 稼働中は吹き出し口を塞がないようにしてください。
- 2, 稼働しない、水が出ない、などの理由により吹き出し口から中をのぞかないでください。不意の事故につながる恐れがあります。
- 3, 顔や頭を稼働中の本体に近づけないようにしてください。
- 4, 人に向けて稼働させないでください。たいへん危険です。
- 5, 噴射する水を体に当てないよう注意してください。直接手で触らないようにしてください。
- 6, バッテリーが過度に熱くなったり、何度も自動停止する場合は使用をやめ、少し休ませてからご使用ください。

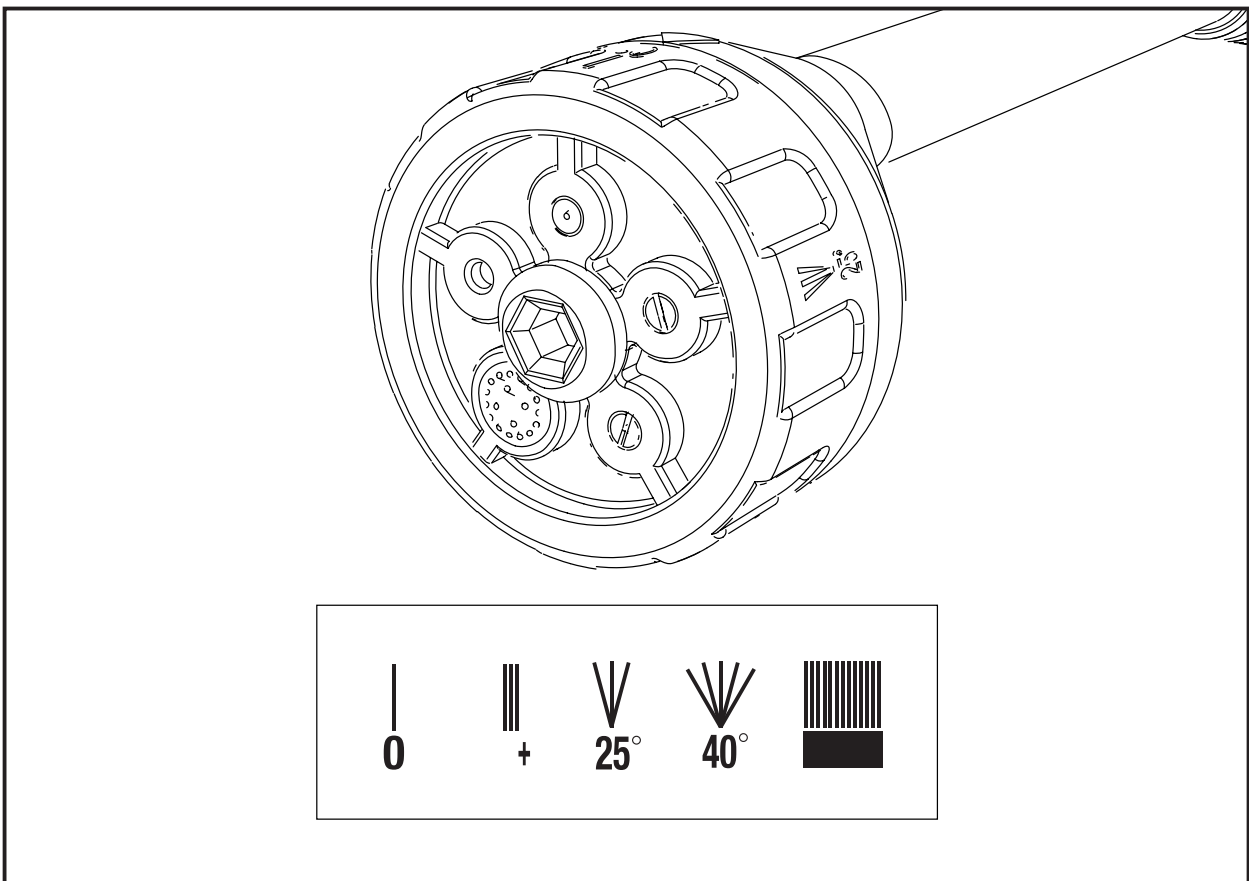


## 水流調節の方法：

5in1 マルチノズルは水流切替バルブを回すことで水流を切り替えることができます。▲の印の位置に、設定したい水流のマークを合わせてください。切り替えバルブはどちら側に回しても切り替えができます。カチッと音が鳴るまで最後まで回してバルブを設定してください。

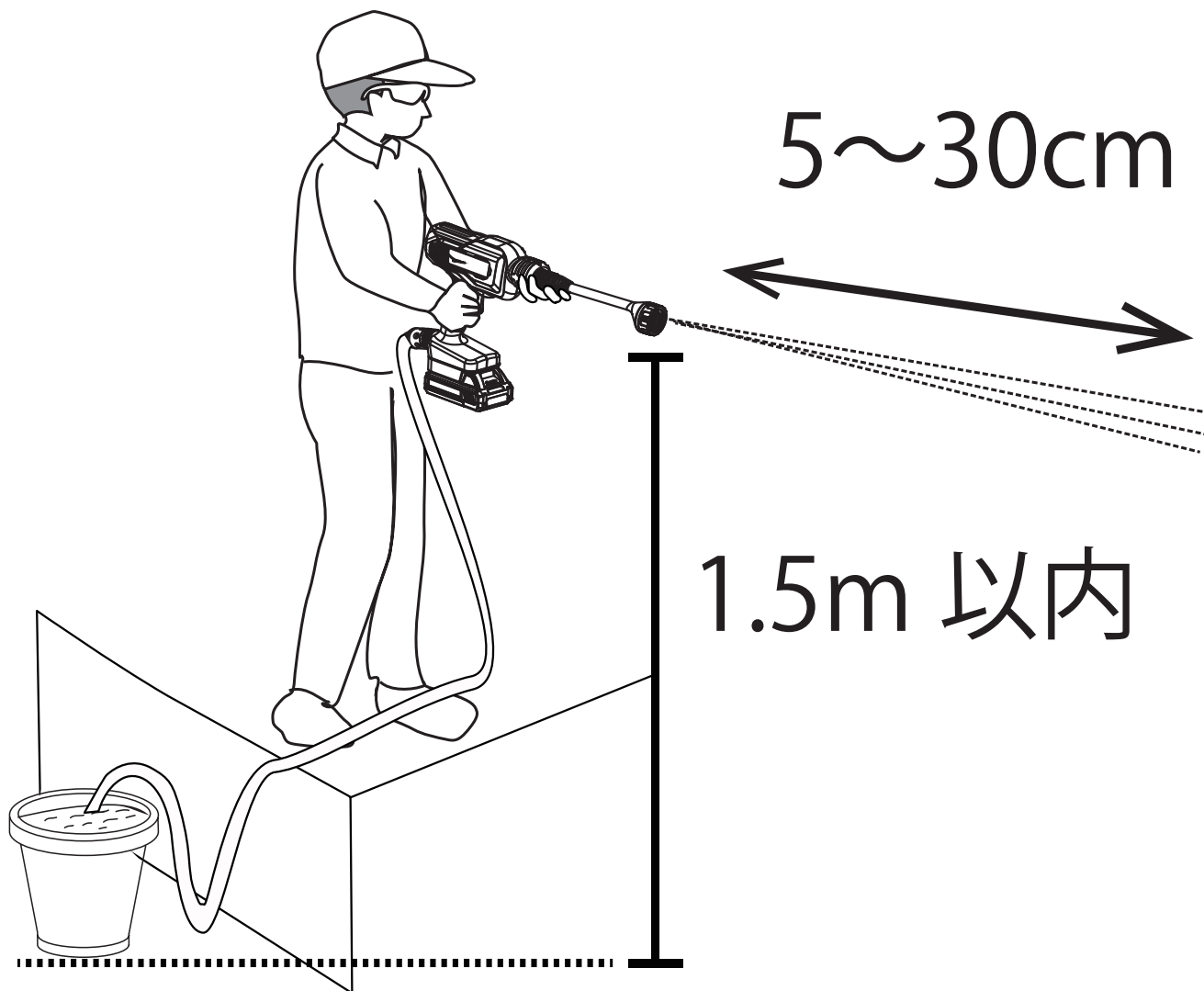


水流の種類：5種類の水流を選ぶことができます。



## 作業方法

図のように両手でしっかりと本体を保持して操作してください。洗浄する対象物から約5～30cm離してご使用ください。始動の際は、水圧が安定するまで少し稼働させてから洗浄作業を始めてください。



### ご使用のあとに：

最後に水道やバケツからホースを外した状態で数回本体を空転させ、本体・ノズルから水を抜いてください。（必要以上に空転させないでください。故障の原因となります。）最後にバッテリーをはずしたあと、本体側ニップルからホースを外してください。

## ⚠ 注意

- ・ 吸水しないとき、長く空転させないよう注意してください。P12の「作業の前に」をご参照のうえ吸水の準備を整えてください。
- ・ 水道蛇口を全開にしたまま本体側ニップルからホースを外さないでください。ホースが暴走して怪我をする恐れがあります。

## お手入れと保管



- ・ 本体・バッテリーは完全防水ではありません。水につけたり、水をかけたりしないようご注意ください。故障や感電の原因となり大変危険です。
- ・ 使用中、グリップ部が濡れたり、泥で汚れたりした時はそのまま使わずにすぐに乾いた布等で拭いてください。
- ・ バッテリーの抜き差しをする際は必ずバッテリー及び本体を拭いてから、乾いた手でおこなうようにしてください。

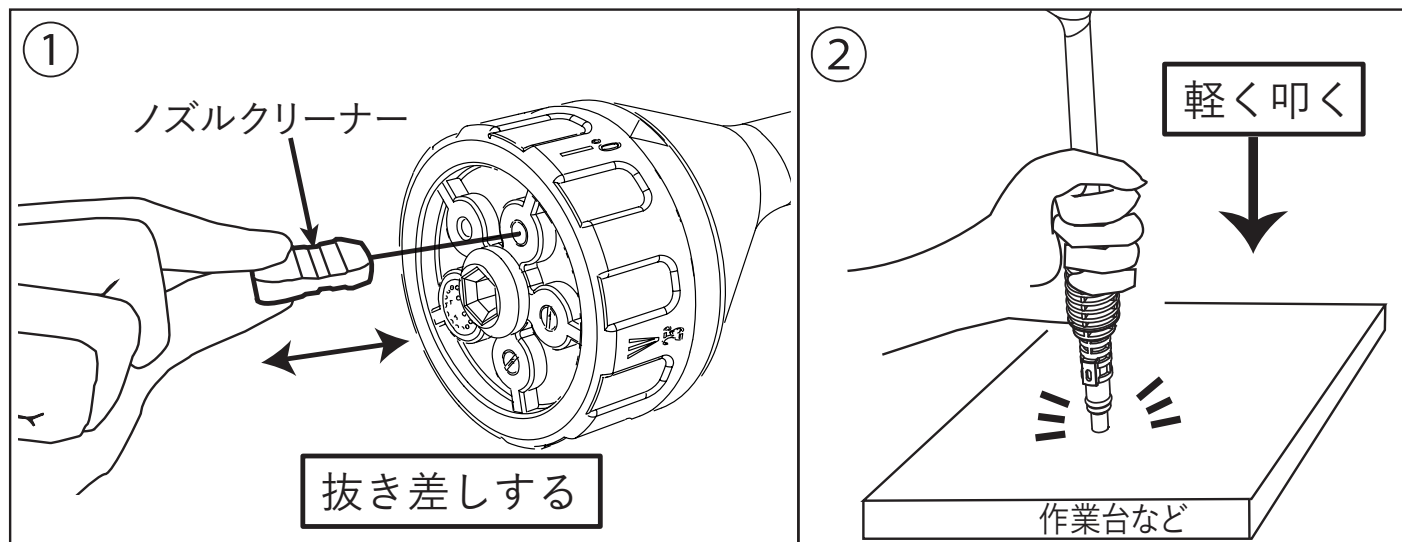
### お手入れ：

- ・ 本体、ノズルは使用後乾いた布で水分をよく拭き取り、そのあと完全に乾燥させてからしまうようにしてください。
- ・ ホースについた汚れは洗い流し、完全に水を抜いてから乾かしてください。濡れたまましまわないでください。
- ・ バッテリーに泥汚れなどがついた場合には、乾いた布で汚れをはらい、乾燥させたのちブラシなどで汚れを落としてください。
- ・ ノズルについた汚れは使用後乾いた布できれいに拭き取ってください。
- ・ すべてのナット、ボルト、およびネジに緩みがないかよく確認し、装置が安全な作業状態にあることを確認してください。
- ・ ホースやワンタッチジョイント、本体側ニップルに破損や亀裂がないかよく確認してください。破損のある場合には新しい部品にお取り替えください。
- ・ 電源アダプター、本体、ノズルに異常はないかよく点検してください。破損がある場合は修理に出してください。
- ・ バッテリーを空の状態でも長期間放置すると、激しく消耗することがあります。使用後は充電してから保管するようにしてください。

## ノズルのお手入れ：

取説に付属のノズルクリーナーで定期的にノズルの穴を点検・清掃してください。

- ①ノズルの先端から穴にノズルクリーナーのピンを差し込んでください。
- ②ノズルの取り付け側を下にして軽く下に叩きつけて内部の異物を排出してください。



## 保管：

- ・バッテリーは本体から取り外し、電極部が金属に触れないようにして保管してください。
- ・長期保管する時は残量ランプを確認しバッテリーを満充電にしてから保管してください。残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。目安として3~4か月に一度は充電するようにしてください。
- ・バッテリーを充電したまま放置したり、コンセントにさしたまま保管しないでください。
- ・乾燥した場所に保管してください。
- ・子どもの手が届くところ、または錠が掛からないところに置かないでください。
- ・風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・直射日光が当たったり、車内など高温になるところには置かないでください。
- ・ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。

## 故障・修理：

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

# 故障かな？と思ったら

よくあるお問合せ	ご確認ください。
満充電なのに稼働しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ロックオフボタンを押しながら稼働スイッチを強く握らないと稼働しない仕様になっています。</li> <li>- 安全上、不意な始動を防止するために初動はスイッチが硬くなっていることがあります。始動できない時は両手で強く押し込んでください。使用していくにつれスイッチは押しやすくなります。</li> </ul>
バッテリーのもちが悪い	<p>バッテリーの充電機能は経年劣化します。稼働時間の短くなったバッテリーは交換をお勧めします。</p>
久しぶりに使用したら稼働できなくなっていた	<p>長期間充電せずに放置されていたバッテリーは完全放電により内部で損傷を起こし、うまく給電できなくなっていることがあります。バッテリーは3ヶ月を目処に再充電するようにしてください。</p>
バッテリーが熱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>- バッテリーは通常の使用時や充電中熱くなることがあります。内蔵ブレーカーが落ちるようになったバッテリーは残量が残っていてもそのまま使用を続けずに休ませてください。</li> <li>- 熱くなった状態のバッテリーはすぐに充電しないでください。</li> </ul>
バッテリーが充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 専用の充電器をご使用いただいていますか？充電器電圧がバッテリーと合っているかご確認ください。また、充電器の後ろに YARDFORCE またはエアボックスと書かれているかをご確認ください。</li> <li>- バッテリーが異常に高温になっている場合には内部ブレーカーが作動して充電できないことがあります。バッテリーを一度休ませてください。</li> <li>- 長期間充電せずに放置されていたバッテリーは完全放電により内部で損傷を起こしている場合があります。バッテリーは3ヶ月を目処に再充電するようにしてください。</li> </ul>
使用中にすぐ止まる	<p>過負荷によりモーターまたはバッテリーの内蔵ブレーカーが落ちた可能性があります。ブレーカーはサーモスタット方式です。作業時間や外気温の高さによっては数時間～最長2日ほど休ませ、十分に冷ましてからご使用ください。</p>
自吸水でうまく水を吸い上げられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 吸水フィルターがしっかり水底まで浸かっていないと吸水できないことがあります。</li> <li>- バッテリー残量が少なくなると自給水できなくなることがあります。</li> </ul>



